

統計研修講義計画書

研修課程	教育関係者向けセミナー	講義科目		講義時間	3コマ
講師	川上 貴 宇都宮大学教育学部 講師				

講義のねらい

2017年・2018年告示の小・中・高等学校の新学習指導要領では、算数科・数学科だけでなく情報科等とも連携して、統計的な内容等の改善・充実がなされました。その一方で、「統計と言われると難しい印象がある」「統計的な問題解決を自分自身が経験したことがない」「実際の授業の中で、どのような教材を用いて、どのような活動を行っていけばよいのか分からない」といった現場の先生方からのとまどいの声も聞かれます。

そこで本講義では、統計指導の意義や統計に関する児童・生徒の実態などをみていきつつ、実際にデータにふれてもらう体験を通して、統計の授業づくりのポイントを受講者の方々と一緒に考えていきたいと思えます。

指導項目と内容

指導項目	内 容
1. 統計指導はなぜ大切か？	なぜ統計指導の充実を図る必要があるのかを考えていくと共に、新学習指導要領では、どのような統計的な内容が位置付けられているのかを概観します。
2. 統計に関して子どもはどう学んでいるのか？	幾つかの実態調査や実際の授業の動画から、子どもたちの統計に対する理解の様子や学びの実態についてみていきます。
3. 統計的な問題解決の体験	統計のおもしろさを味わって頂くために、データから色々な事柄を発見してもらう体験をしてもらいます。受講者の人数によって協働して取り組んでもらう予定です。
4. この統計の題材を授業でどう取扱うか？	3の体験で取り上げた統計の題材を受講者が関心のある学校種・学年の児童・生徒（場合によっては算数科・数学科以外の教科）に対する授業でどう取扱うかを考えてもらいます。受講者の人数によってグループでのディスカッションなども取り入れる予定です。
5. 統計の授業づくりのポイントは何か？	4までの内容を踏まえ、統計の授業づくりで大切にしたいポイントをまとめます。また、ICTの活用についても紹介します。

講義形態 指導方法	講話および演習（人数によってはグループによる協働的取組も）
受講に必要な 基礎知識等	受講者（小中高）が所属する学校種の算数科または数学科の「学習指導要領解説」をご持参下さい。小中高等学校の教員以外の受講者は、興味のある学校種の算数科・数学科の「学習指導要領解説」をご持参下さい。